

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願い申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日
ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

MSC TECHNICAL NEWS

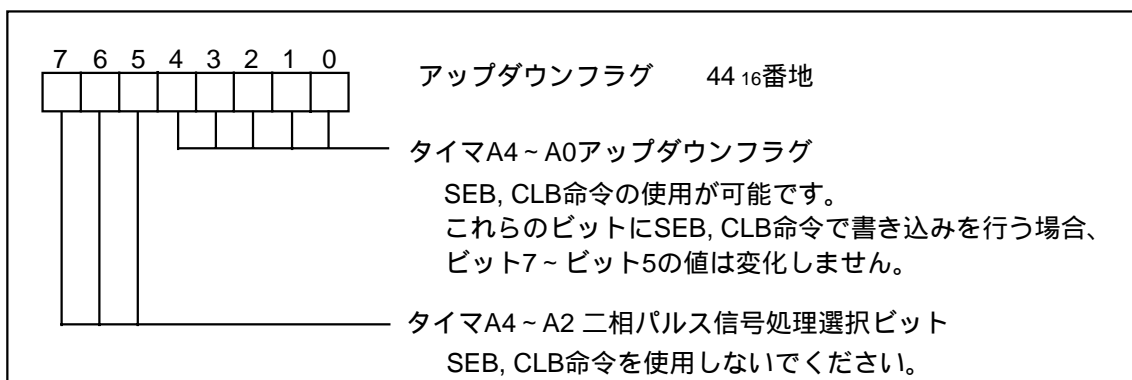
No.M7700-22-9008

7700シリーズ タイマA 二相パルス信号処理選択ビット 書き込み時の注意事項

1. 注意事項

タイマA4～A2 二相パルス信号処理選択ビット（44₁₆番地 ビット7～ビット5）への書き込みには、LDM, STA命令を使用してください。SEB, CLB命令は使用しないでください。

タイマA4～A0アップダウンフラグ（44₁₆番地 ビット4～ビット0）への書き込みには、SEB, CLB命令の使用が可能です。これらのビットにSEB, CLB命令で書き込みを行う場合、ビット7～ビット5の値は変化しません。



2. タイマA4～A2 二相パルス信号処理選択ビットの書き込み方法

- a. 44₁₆番地の全ビットの値が分かっている場合は、LDM命令を使用してください。

例) LDM #01100000B, 44H ;ビット7を“0”に、ビット6,ビット5を“1”にする。

- b. 44₁₆番地で値の分からないビットがある場合は、STA命令を使用してください。

例) LDA A, 44H ; 44₁₆番地の内容を読み出す。
ORA A, #00100000B ; ビット5を“1”にする。
AND A, #01111111B ; ビット7を“0”にする。
STA A, 44H ; 44₁₆番地へ書き込む。